

令和5年度 第1回学校運営協議会



1年1組



特別支援学級



1年2組



1年3組

令和5年4月24日（月）
朝霞市立朝霞第五中学校

第1回 学校運営協議会 次第

令和5年4月24日（月）

13:15～15:00

図書室 司会：相澤教頭

- 1 開会
- 2 学校長あいさつ
- 3 委嘱状の交付
- 4 令和5年度学校経営方針について
- 5 令和5年度年間行事等計画について
- 6 授業参観
- 7 協議
 - ・本校の課題について
 - ・学校の教育活動について
 - ・道徳の授業について
- 8 閉会

朝霞市立朝霞第五中学校学校運営協議会委員

大森 昭吾 様	宮戸町内会長
要害 映子 様	法務省人権擁護委員
鈴木 律子 様	元朝霞第五中学校保護者 代表連絡会代表
片村 榮博 様	朝霞第三小学校 PTA 会長
児玉 裕子 様	十文字学園女子大学学修支援 センター学習指導員
渋谷 勝己 様	朝霞市社会福祉協議会 朝霞市障害者ふれあい センター あさか福祉作業所 所長
森泉 良一 様	朝霞市スクールソーシャル ワーカー
金子 康雄 様	朝霞第五中学校 スクールサポーター
小島 孝之 様	朝霞第三小学校長

【学校教育目標】

- ①進んで学習する生徒（知）
- ②人の気持ちがわかる生徒（徳）
- ③自ら体を鍛える生徒（体）

- ① 進んで学習する生徒（知）
 - 「考え、伝え合う」力の育成
 - 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現
 - 「主体的・対話的で深い学び」の実現

- ② 人の気持ちがわかる生徒（徳）
 - 多様な価値観に触れ、多角的・多面的に考える力の育成
 - 自他の生命の尊重
 - 対面でのコミュニケーションを通じて人間関係を築く力の育成
 - 公共の精神の育成

- ③ 自らの体を鍛える生徒（体）
 - 体力の向上
 - 困難を乗り越え、ものごとを成し遂げる力の育成
 - 規範意識の向上
 - 防災・安全意識の向上
危機管理「さしすせそ」の徹底を図る。
 - さ → 最悪を想定、最初が肝心
 - し → 慎重に・しっかり傾聴
 - す → 素早い対応と行動
 - せ → 誠意をもって
 - そ → 組織で対応

【目指す学校像】

家庭・地域とともに育む信頼される学校

教育の根幹は相互における信頼関係の上に成り立つととらえる。

- 生徒から信頼される教師の育成 →指導力向上のための校内研修の充実
- 保護者から信頼される教育活動の実施→学力向上、体力向上、不登校生徒への支援
- 地域から信頼される学校の創造 →学校運営協議会の設置

【目指す生徒像】

広い視野を持ち、多面的・多角的に考える五中生

- 「考え・伝え合う」道徳授業の実践
→道徳教育推進モデル校として研修主任を中心に道徳の授業を実践し、多面的・多角的に考える生徒の育成に努める。
- 「自立する力」の育成
→先行き不透明な社会において自ら考え判断し、たくましく生き抜く力の育成に努める。

【目指す教師像】

○生徒一人一人の資質・能力を最大限に引き出す教師
○探究心を持ち、生涯学び続ける教師
○チームの一員として組織的・協働的に取り組む教師

- 生徒一人一人の学びを最大限に引き出す教師
→「指導の個別化」の実現
生徒一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、ICTを有効に活用し、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行う。
→「学習の個性化」の実現
探究において課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う等、教師が生徒一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、生徒自身の学習が最適となるよう調整する。
- 探究心を持ち、生涯学び続ける教師
→「校内研修の充実」
道徳の授業研究を通して、指導方法の工夫改善に取り組み、教職員の指導力や資質を向上させる。
- チームの一員として組織的・協働的に取り組む教師
→「チーム五中」としての意識を向上させる。
校務分掌等を通じて、自分の役割に責任を持たせ、組織的・協働的に活動できるチームとする。
埼玉県道徳教育推進モデル校として、教職員が同じ目標に向かって組織的に取り組む。

【本年度学校重点目標】

埼玉県道徳教育推進モデル校・朝霞市研究開発学校指定校としての取組
「多様な価値観にふれ、多面的・多角的に考える力の育成」
～「考え・伝え合う」道徳授業の実践～

〔今年度の重点課題への取組〕

1. 不登校生徒への支援・対策

生徒指導・教育相談に関わる学校の現状と課題

① 調査結果による暴力行為、不登校の現状

	令和3年度 (R03/4/1~R04/3/31)		令和4年度 (R04/4/1~R04/12/31)	
暴力行為発生件数	3 件		0 件	
不登校児童生徒数	27 人	新規4人	22 人	新規10人
		継続23人		継続12人

② 令和4年度 学年別暴力行為加害児童生徒数、不登校児童生徒数（実人数）

	中学1年	中学2年
暴力行為	0 人	0 人
不登校	4 人	18人

本校は、特任校制度をとっており、入学・転入してくる生徒の中には、他の学校で不適応となり不登校になってしまった生徒、いじめを受けて集団生活になじめなくなった生徒、生徒同士のトラブルを抱えた生徒、発達に課題がある生徒など、実に様々な深刻な課題をかかえた生徒が入ってくる。課題を抱えた多くの生徒は、始めのうちは学級での集団生活に慣れるよう努めているが、しだいに体調不良で不適応となり、相談室登校や不登校になる生徒が増加している。また、不登校生徒の中には、学校では発覚しにくいスマホやタブレットなど、インターネットに関するトラブルや事件なども起きており、対応に苦慮している。

2. 「規律ある態度」の育成

①整理整頓

→机の中、ロッカーの中などの身の回りの整理整頓をする。

②話を聞き発表する

→授業の中で「考え、伝え合う」授業を展開し、生徒の考えや思いを引き出す。

3. 体力の向上

①旧1年生→すべての項目が県平均を下回っている。

②旧2年生→上体起こし、持久走以外、県平均を下回っている。

※全体的な体力向上が喫緊の課題である。

※あらゆる機会をとらえて、体を動かす活動を取り入れる。

4. 今年度の業務改善

①日課の変更→清掃時間、帰りの会を5分ずつ短縮し、10分間下校を早くする。

②朝練習をなしにする。

③留守番電話の設定時間を変更する。18時から翌朝8時まで

④1学期中間テストをなくす。(多面的な評価方法にする)

⑤朝の打合せ会を週3日にする。

⑥欠席連絡をタブレットのチームスで連絡する。 など

研究主題

「多様な価値観にふれ、多面的・多角的に考える生徒の育成」

～「考え、伝え合う」道德授業の実践を通して～

朝霞市立朝霞第五中学校

1 研究主題の設定理由

近年、グローバル化が進展する中で、様々な文化や価値観を背景とする人々と相互に尊重し合いながら生きることが一層求められている。このような課題に対応していくためには、人としての生き方や社会の在り方について、多様な価値観を前提として、他者と対話し協働しながら、物事を広い視野から多面的・多角的に考察する力を育成することが必要である。本校の生徒は、素直でやさしい生徒が多い一方で、狭く限られた人間関係の中でのコミュニケーションしかとれず、多様な価値観にふれ、自己の考えを広げる機会が少なく、物事を広い視野から捉えることができる生徒は少ない。そこで、道德授業における「考え、伝え合う」活動を通して、様々な見方や考え方から総合的に考察し、多面的・多角的に考える生徒を育成したいと考え、本主題を設定した。

2 研究の仮説

- (1) 「考え、伝え合う」道德授業を実践することで、自分だけでは気付くことができなかった多様な価値観にふれることができ、多面的・多角的に考える生徒を育成できるであろう。（授業研究部）
- (2) 多様化する生徒の実態に応じて、目標や方法などの「見える化」を行うことで、多面的・多角的に考える生徒を育成できるであろう。（環境整備部）
- (3) 指導重点目標を生徒の実態から設定し、家庭・地域と方向性を共有する取組を推進すれば多面的・多角的に考える生徒を育成できるであろう。（資料統計部）

3 研究の経過

時期	内容
4月18日	第1回校内研修会○研究テーマ決め ○研究組織・研究内容検討
5月12日	第2回校内研修会○研究部会（授業研究部、資料統計部、環境整備部）
6月20日	第3回校内研修会○アンケート ○学年ローテーション授業実施 ○師範授業 ○部会ごとの仮説の設定
7月11日	第4回校内研修会○指導者による授業参観及び講演会 指導者：国立教育政策研究所 教育課程調査官 飯塚 秀彦 氏 朝霞市教育委員会教育指導課 主幹兼課長補佐 太田 禎治 氏 テーマ「特別の教科 道德」の充実に向けて
8月22日	第5回校内研修会○講演会 講師：武蔵野美術大学 教授 三澤 一実 氏

埼玉県道徳教育研究推進モデル校 実績報告書

	テーマ「ファシリテーション能力の向上」
9月5日	第6回校内研修会○「考え、伝え合う」時間の実践演習
10月31日	第7回校内研修会○校内授業研究会指導案検討会（各学年）
11月28日	校内授業研究会 1年2組 教諭 菰原 竜「コロナ禍で気付いたこと」 指導者 朝霞市教育委員会教育指導課指導主事 川村 巖 氏 2年3組 教諭 加納 充浩「星置きの滝」 指導者 朝霞市教育委員会教育指導課指導主事 高梨 勝也 氏 3年1組 教諭 奥山 真衣「男らしさ 女らしさ 自分らしさ」 指導者 朝霞市教育委員会教育指導課指導主事 金井 邦夫 氏
12月5日	第8回校内研修会○「hyper-QUの活用について」説明会
2月6日	第9回校内研修会○指導者による授業参観及び講演会 指導者：埼玉県教育局義務教育指導課指導主事 芳賀 一行 氏 テーマ「道徳授業における多面的・多角的に考える力」
3月	道徳授業参観 今年度のまとめと来年度の計画

4 研究の内容

(1) 授業研究部の取組

①学年ローテーション授業の実施

道徳の授業を月曜日の5時間目に設定し、学年内でのローテーションによる道徳の授業を全教員が実践することで全体の指導力の向上を図る。生徒の側からみれば、様々な教員の道徳の授業を受けることができ、教員の多様な価値観にふれることができる。また、「5中スタンダード」と称するワークシートを活用し、共通の振り返り項目を使用することで多面的・多角的な見方・考え方が身に付いたかどうかを自己評価する。

②授業相互見学

学年ローテーション授業を教員同士で見学し、お互いの授業を見合い振り返ることで、指導方法の工夫・改善を図った。見学する際には、「指導力改善のためのチェックシート」を活用し、授業について見学者と授業者で話し合う場を設定し、振り返りを行った。また、3月の学級懇談会にあわせて道徳の授業参観を行い、保護者にも道徳の授業を見学してもらった。



③指導者による授業見学及び講演会の実施

7月11日に国立教育政策研究所教育課程調査官の飯塚 秀彦 氏を招聘し、道徳の授業を参観し、指導・助言してもらった。また、校内研修会において、「特別の教科道徳の充実に向けて」をテーマに、1時間程度講演してもらい、教員と活発な意見交換ができた。



④全教員による指導案作成、校内授業研究会の実施

1月28日に各学年で校内授業研究会を実施した。指導案作成から全教員で練り上げ、授業する上での工夫点として「多面的・多角的に考える場面設定を行うこと」「生徒の意見を引き出すための指導方法を工夫すること」「生徒の思いや考えを可視化すること」等を重点として検討した。また、1年と3年の授業では、埼玉県独自の道徳教育教材資料集「彩の国の道徳『未来に生きる』」を活用した。
1年「コロナ禍で気付いたこと」（中学校C よりよい学校生活、集団生活の充実）
3年「男らしさ女らしさ、自分らしさ」（中学校A 向上心、個性の伸長）

(2) 環境整備部の取組

①ファシリテーション能力育成のための研修会の実施

道徳授業における教員のファシリテーション能力を育成するため、8月22日の校内研修会で、武蔵野美術大学 教授 三澤 一実 氏を講師として、「ファシリテーション能力の向上」をテーマに講演してもらった。また、9月5日の校内研修会において、教員同士で、多様な生徒の思いや考えを引き出すための指導方法について実践演習を行った。



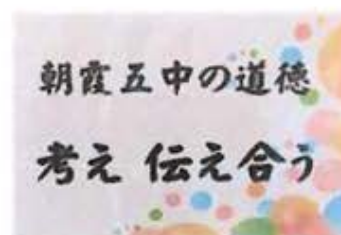
②「考え、伝え合う」時間の設定

教員のファシリテーション能力を育成し、学級での発表しやすい環境をつくるため、月1回、水曜日の放課後に全クラスで鑑賞教育の活動を10分間取り入れ、「考え、伝え合う」時間を設定した。指導方法としては、教員がファシリテーターの役割をにない、生徒の思いや考えを引き出し、多様な価値観にふれる活動となるよう工夫した。



③校内道徳啓発用掲示物の作成

「考え、伝え合う」道徳授業を実施するために、校内の随所に「朝霞五中の道徳 考え 伝え合う」と書かれた掲示物を作成・掲示し啓発している。また、伝え合う力を高めるため、道徳の授業で使用するファイルに、「話す力」「聴く力」の行動目標を貼り、生徒が道徳科の時に常に意識して、活動できるよう工夫している。



また、多様な価値観にふれるため、各行事に合わせて、人権標語やいじめ撲滅宣言など生徒の思いや考えを記入したものや生徒一人一人の作品や成果物などを各教室や廊下に掲示し、誰でも見学できるようにしている。



④教材の共有化

道徳授業で実践した教材やワークシートなどの電子データを共有のフォルダに保存し、全教員が閲覧し活用できるよう整備した。経験の浅い教員にとって、ベテラン教員の作成した資料を活用できることはとても有効である。

(3) 資料統計部の取組

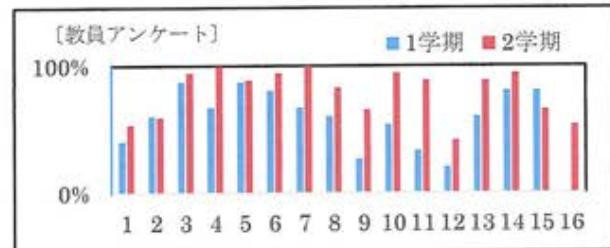
①生徒アンケートの実施

学期に1回、生徒を対象に道徳の授業についてのアンケートを実施し、道徳の授業に対する意識の変容を調べる。質問は、「道徳の授業で、自分とは違う考え方があることを知ることができたか」など、生徒に多面的・多角的に考える力がついたかどうかを調べるための内容11項目を設定している。



②教員アンケートの実施

学期に1回、教員を対象に、道徳の授業についてのアンケートを実施し、教員の道徳の授業に対する意識の変容を調べる。道徳授業の指導方法を工夫し実践しているかどうかを調べるため、「生徒の多様な考えを引き出すよう発問を工夫しているか」などの16項目を設定している。



③保護者アンケートの実施

保護者と方向性を共有するために、道徳内容項目について、保護者から見た子どもの達成状況や願いなどについてアンケートを実施した。保護者が子どもに不足している内容項目として、「高い目標設定」「探究心」「勤労」「社会性」「郷土の伝統文化」などをあげている。この結果をもとに次年度の道徳全体計画を見直す。

④「hyper-QU」の実施

全校生徒に「hyper-QU」を実施し、学級満足度や学校生活意欲度、ソーシャルスキル等について実態把握し、安心して自分の意見が言える学級になるよう改善を図る。

⑤教員の道徳授業における「虎の巻」の作成

「道徳の授業で工夫している点」や「必ず行っていること」「他の先生方にも実践してほしいこと」などについて教員が作成した資料「虎の巻」をもとに、校内研修会にて情報共有し、道徳授業をする上での悩みや疑問点などをお互い相談しあった。

5 研究の成果と課題

(1)成果

各部会の取組により、教員全体の道徳授業に対する意識が向上し、教員一人一人の道徳授業における指導方法の工夫・改善がみられた。また、道徳授業の実践を通して、自分の考えや思いを伝え合う活動が増え、多面的・多角的に考える生徒の育成につながっている。「規律ある態度」の「⑩話を聞き発表する」においても、本校の達成率が県平均を上回る等、「規律ある態度」を身に付けた生徒が増えている。

(2)課題

道徳授業を実践するにあたり、教員間での経験の差や価値観の違いもあり、生徒の多様な考えを引き出す指導方法について共通理解を図ることが課題である。次年度は、教員全体の指導力を向上させるため、校内研修推進委員会を中心として部会ごとに組織的に取り組み、生徒の多面的・多角的に考える力の育成につなげたい。

05 学校用

令和4年度埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

「規律ある態度」達成目標（児童生徒対象質問紙調査結果一覧）

朝霞市立朝霞第五中学校

※ 表中の数字は、児童生徒質問紙調査で児童生徒が「できる」（「よくできる」「だいたいできる」の合計）と回答した割合（達成率）

(96)

※ は、80%以上

内容	項目		R4			R3			
			中1	中2	中3	中1	中2	中3	
○けじめのある生活ができる	1 時刻を守る	①登校時刻	埼玉県	97.7	96.1	96.3	97.9	96.7	96.7
			市町村	97.6	95.9	95.5	97.7	96.5	96.4
			貴校	95.6	93.6	93.5	97.2	93.0	96.7
		②授業開始時刻	埼玉県	96.9	97.1	97.6	96.9	97.6	98.0
	市町村		96.8	97.6	97.9	97.4	98.3	99.1	
	貴校		93.0	94.5	96.3	96.3	97.4	97.5	
	2 整身の回りの整理	③靴そろえ	埼玉県	89.1	89.8	92.3	89.9	91.0	92.5
			市町村	90.4	91.3	94.7	91.5	94.2	94.8
貴校			90.4	91.7	97.2	94.5	96.5	96.7	
④整理整頓		埼玉県	77.1	77.0	80.8	76.7	78.6	80.5	
	市町村	71.1	74.5	81.6	73.9	78.4	79.6		
	貴校	65.8	68.8	72.0	68.8	65.8	81.8		
○礼儀正しく人と接することができる	3 や進んであいさつ 返事をすすめる	⑤あいさつ	埼玉県	81.9	81.7	83.5	82.8	82.6	84.2
			市町村	80.3	85.7	86.5	83.4	86.9	88.8
			貴校	76.3	77.1	80.4	80.7	82.5	86.0
	⑥返事	埼玉県	88.0	86.6	88.3	87.8	87.4	89.6	
		市町村	89.6	89.0	91.3	89.3	92.7	93.5	
		貴校	87.7	89.0	92.5	91.7	88.6	91.7	
	4 けづかいをいかに身に つ	⑦ていねいな言葉づかい	埼玉県	91.2	90.5	92.2	90.4	91.2	93.7
			市町村	91.8	91.5	93.3	92.1	93.4	95.2
			貴校	93.9	87.2	92.5	89.0	91.2	92.6
		⑧やさしい言葉づかい	埼玉県	89.3	88.1	88.7	87.3	87.4	90.3
市町村	88.6		89.6	90.5	88.6	87.4	91.9		
貴校	86.0		81.7	87.9	89.0	83.3	92.6		
○約束やきまりを守ることができる	5 守る 学習のきまりを	⑨学習準備	埼玉県	91.9	91.2	92.5	91.5	91.8	93.7
			市町村	90.2	92.4	93.4	91.6	93.3	96.7
			貴校	90.4	88.1	92.5	86.2	89.5	99.2
	⑩話を聞き発表をする	埼玉県	77.2	73.4	76.7	76.1	73.8	76.7	
		市町村	76.1	74.3	78.3	77.8	77.5	82.8	
		貴校	79.8	70.6	86.9	75.2	75.4	80.2	
	6 守る 生活のきまりを	⑪集団の場での態度	埼玉県	92.6	92.5	94.6	92.1	93.2	95.5
			市町村	92.4	92.5	95.3	93.4	94.7	97.5
貴校			94.7	86.2	93.5	93.6	87.7	98.3	
⑫掃除・美化活動		埼玉県	85.8	84.3	85.8	86.4	85.3	86.5	
市町村	87.8	86.5	85.7	90.6	87.4	87.9			
貴校	88.6	84.4	81.3	89.0	85.1	86.8			

朝霞市立朝霞第五中学校 新体カテスト結果シート

令和4年度 自校平均値と県平均値との比較一覧表

項目	性別	男子			女子		
	学年	1	2	3	1	2	3
握力 (kg)	自校平均	19.85	26.32	34.10	18.46	22.34	26.30
	県平均	24.03	29.65	34.41	21.65	24.12	25.79
	比較	×	×	×	×	×	○
上体起こし (回)	自校平均	23.76	26.27	31.37	21.31	25.47	29.23
	県平均	24.88	28.23	30.81	22.14	24.84	26.59
	比較	×	×	○	×	○	○
長座体前屈 (cm)	自校平均	33.95	45.99	51.03	35.89	46.81	53.77
	県平均	42.91	47.86	51.74	46.43	50.13	53.03
	比較	×	×	×	×	×	○
反復横とび (点)	自校平均	43.70	47.06	49.90	40.92	41.84	44.74
	県平均	48.40	51.89	55.15	44.91	46.82	48.19
	比較	×	×	×	×	×	×
持久走 (秒)	自校平均	426.82	388.16	371.67	313.85	299.34	288.15
	県平均	425.00	394.21	378.06	303.18	290.89	289.79
	比較	×	○	○	×	×	○
20mシャトルラン (回)	自校平均			54.25		67.00	
	県平均			85.98		56.20	
	比較			×		○	
50m走 (秒)	自校平均	8.66	7.87	7.33	9.08	8.77	8.42
	県平均	8.56	7.92	7.50	9.05	8.76	8.62
	比較	×	○	○	×	×	○
立ち幅とび (cm)	自校平均	165.43	184.16	205.33	149.45	153.75	168.12
	県平均	184.26	202.45	216.09	167.33	173.98	177.05
	比較	×	×	×	×	×	×
ボール投げ (m)	自校平均	14.28	19.50	24.30	9.64	12.00	15.19
	県平均	17.60	21.10	23.93	11.64	13.39	14.72
	比較	×	×	○	×	×	○

県平均値と自校平均値の比較	性別	男子〔25項目〕			女子〔25項目〕			合計〔50項目〕		
	種別	○	-	×	○	-	×	○	-	×
	項目数	6	0	19	8	0	17	14	0	36
	割合%	24.0	0.0	76.0	32.0	0.0	68.0	28.0	0.0	72.0

○：県平均値を上回っているもの -：県平均値と一致しているもの ×：県平均値を下回っているもの

県平均値と自校の平均値の比較

県平均値を上回っている項目(○)の割合を増やしましょう。
種目や学年の傾向を把握して、弱いところを重点的に取り組みましょう。

総合評価 (男女合計)	学年	1	2	3	学校全体	県の割合
	A	8.0%	9.5%	29.0%	15.7%	24.0%
	B	8.0%	27.6%	29.9%	22.1%	29.1%
	C	33.0%	40.0%	25.2%	32.7%	28.0%
	D	41.0%	14.3%	14.0%	22.8%	14.9%
	E	10.0%	8.6%	1.9%	6.7%	4.0%
	A+B	16.0%	37.1%	58.9%	37.8%	53.1%
	A+B+C	49.0%	77.1%	84.1%	70.5%	81.1%
	D+E	51.0%	22.9%	15.9%	29.5%	18.9%



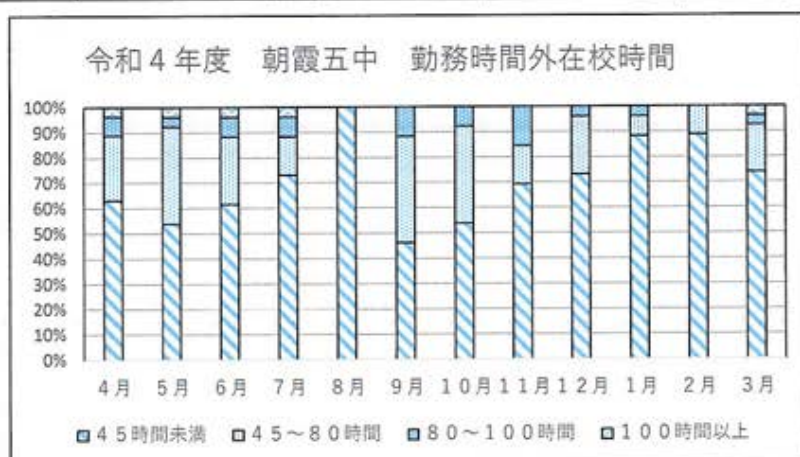
総合評価について

文部科学省が示すテストの種目ごとの得点から換算したAからEまでの段階。(最も高い体力レベルがA)
自校のAからEの分布の割合を県の割合と比較するなどして分析し、できるだけ、A+Bを増やし、D+Eを減らす取組を学校として企画しましょう。

県の体力向上に向けた合い言葉 「コツコツきたえた体は たからもの」

令和4年度 朝霞市立朝霞第五中学校 時間外在校時間集計

人数	45時間未満	45～80時間	80～100時間	100時間以上	合計	平均時間	45h超
4月	17	7	2	1	27	44.32	33.3%
5月	14	10	1	1	27	43.24	44.4%
6月	16	7	2	1	26	42.45	37.0%
7月	19	4	2	1	26	36.37	26.9%
8月	26	0	0	0	26	11.20	0.0%
9月	12	11	3	0	26	35.45	53.8%
10月	14	10	2	0	26	30.37	46.2%
11月	18	4	4	0	26	39.15	30.8%
12月	19	6	1	0	26	31.07	26.9%
1月	23	2	1	0	26	26.59	11.5%
2月	24	3	0	0	27	26.10	11.1%
3月	20	5	1	1	27	36.80	25.9%



柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	A 3.4	生徒、保護者、教職員ともにおおむね学校教育目標達成に取り組む、学校生活が充実していると感じている。	A 3.8	・保護者・教職員・生徒全体でも90%以上である。 ・3者とも学校生活が充実していると感じている。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	B 3.3	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、健康観察、検温、換気、マスク着用などを徹底し、感染対策を工夫しながら、様々な学校行事を実施し、安全・安心に配慮している。生徒指導委員会を中心に、組織的にいじめの早期発見・未然防止に努めている。	A 3.8	・保護者・教職員・生徒全体でも90%以上である。 ・新型コロナウイルス対応も徹底されている。 ・中学生に多い精神疾患にも早期に対応する必要がある。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B 2.9	生徒の意識と保護者・教職員の意識にずれが生じている。生徒は、基本的な内容を丁寧に教わっているつもりでも、教員や保護者は生徒に基礎学力がついていないと感じている。	A 3.7	・生徒全体では、94.7%であるが、保護者・教職員とも90%以下である。 ・生徒と教員・保護者とでは多少のギャップがある。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	A 3.5	生徒・教職員いずれもおおむね授業改善に努めていると感じているのは、昨年度から導入されたタブレットを有効に活用していることが考えられる。	A 3.7	・教員の評価が100%、生徒全体でも92.7%と高い。 ・タブレットも有効に活用されている。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B 3.1	「規律ある態度」のうち、「整理整頓」の項目が課題となっている。委員会などを活用し、身の回りの整理整頓から指導することが必要である。	A 3.7	・生徒全体、保護者は90%以上であるが、教職員は90%以下である。 ・とりわけ、「整理整頓」の生徒評価が低い。 ・挨拶がしっかりできている。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	B 3.3	「規律ある態度」の指導については、生徒・保護者・教職員ともに改善されているが、「話を聞き発表する」の項目は依然として課題である。	A 3.7	・保護者、教職員、生徒全体で90%以上である。 ・規律ある態度の調査結果に課題がある。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	B 3.3	生徒・保護者の割合は、昨年度より低い。あらゆる機会をとらえて、体を動かす活動を取り入れる必要がある。	A 3.5	・教職員は100%であるが、生徒全体、保護者とも90%以下である。 ・生徒・保護者の割合が昨年度より低い。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B 3.3	新体カテストの結果では、24項目中県平均を上回ったものが、男子が6項目、女子が8項目であった。体育の授業はもちろん、全体的な体力向上のための方策を考える必要がある。	B 3.2	・体力レベルが県平均より低い。 ・外で活動する機会を増やす取組の充実が求められる。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B 3.0	生徒の意識が低い。地域の人材を活用したり、地域ふれあい祭りや職場体験活動などに積極的に参加できる体制をつくる必要がある。	A 3.7	・保護者は90%以上であるが、生徒全体では63.6%、教職員は78.3%と低い。 ・どんな取組をするのか明確にしてほしい。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	B 3.0	自転車通学の生徒が60人程度いるので、登下校の見守りなど地域の方々と連携を図るよう努める。来年度から学校運営協議会を設置し、学校・保護者・地域が一体となって学校教育活動を行うしくみをつくる。	A 3.7	・生徒全体、保護者は90%以上であるが、教職員は87%と低い。 ・登下校の見守りなど更なる地域の方との連携が必要である。 ・スマホの取り扱いに注意が必要である。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.8以上、C:2.0以上、D:2.0未満

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1日	水	新人(サッカー、女子バス、バレー、卓球)	水		月		木		金		合格発表
2日	木	1,2年扶養テスト	木		火		火		金		入学予定者保護者説明会
3日	金	文化の日	金		水		水		土		
4日	土	駅伝県大会	土		木		木		日		
5日	日		日		水		金		月		1,2年期末テスト
6日	月	テスト前部活動止 (5.6.7.8.9.10.11.12.13.14.15.16.17.18.19.20.21.22.23.24.25.26.27.28.29.30.31)	月		火		土		火		1,2年期末テスト
7日	火		火		水		日		水		進級検査合格発表
8日	水		水		木		月		木		生徒朝礼
9日	木		木		金		火		金		
10日	金		金		土		水		土		
11日	土		土		日		木		日		
12日	日		日		火		金		月		
13日	月		月		水		土		火		
14日	火		火		木		日		水		
15日	水		水		金		月		木		
16日	木		木		土		火		金		
17日	金		金		日		水		土		
18日	土		土		月		木		日		
19日	日		日		火		金		月		
20日	月		月		水		土		火		
21日	火		火		木		日		水		
22日	水		水		金		月		木		
23日	木		木		土		火		金		
24日	金		金		日		水		土		
25日	土		土		月		木		日		
26日	日		日		火		金		月		
27日	月		月		水		土		火		
28日	火		火		木		日		水		
29日	水		水		金		月		木		
30日	木		木		土		火		金		
31日	金		金		日		水		土		
1日	土		土		月		木		日		
2日	日		日		火		金		月		
3日	月		月		水		土		火		
4日	火		火		木		日		水		
5日	水		水		金		月		木		
6日	木		木		土		火		金		
7日	金		金		日		水		土		
8日	土		土		月		木		日		
9日	日		日		火		金		月		
10日	月		月		水		土		火		
11日	火		火		木		日		水		
12日	水		水		金		月		木		
13日	木		木		土		火		金		
14日	金		金		日		水		土		
15日	土		土		月		木		日		
16日	日		日		火		金		月		
17日	月		月		水		土		火		
18日	火		火		木		日		水		
19日	水		水		金		月		木		
20日	木		木		土		火		金		
21日	金		金		日		水		土		
22日	土		土		月		木		日		
23日	日		日		火		金		月		
24日	月		月		水		土		火		
25日	火		火		木		日		水		
26日	水		水		金		月		木		
27日	木		木		土		火		金		
28日	金		金		日		水		土		
29日	土		土		月		木		日		
30日	日		日		火		金		月		
31日	月		月		水		土		火		
1日	火		火		木		日		水		
2日	水		水		金		月		木		
3日	木		木		土		火		金		
4日	金		金		日		水		土		
5日	土		土		月		木		日		
6日	日		日		火		金		月		
7日	月		月		水		土		火		
8日	火		火		木		日		水		
9日	水		水		金		月		木		
10日	木		木		土		火		金		
11日	金		金		日		水		土		
12日	土		土		月		木		日		
13日	日		日		火		金		月		
14日	月		月		水		土		火		
15日	火		火		木		日		水		
16日	水		水		金		月		木		
17日	木		木		土		火		金		
18日	金		金		日		水		土		
19日	土		土		月		木		日		
20日	日		日		火		金		月		
21日	月		月		水		土		火		
22日	火		火		木		日		水		
23日	水		水		金		月		木		
24日	木		木		土		火		金		
25日	金		金		日		水		土		
26日	土		土		月		木		日		
27日	日		日		火		金		月		
28日	月		月		水		土		火		
29日	火		火		木		日		水		
30日	水		水		金		月		木		
31日	木		木		土		火		金		
1日	金		金		日		水		土		
2日	土		土		月		木		日		
3日	日		日		火		金		月		
4日	月		月		水		土		火		
5日	火		火		木		日		水		
6日	水		水		金		月		木		
7日	木		木		土		火		金		
8日	金		金		日		水		土		
9日	土		土		月		木		日		
10日	日		日		火		金		月		
11日	月		月		水		土		火		
12日	火		火		木		日		水		
13日	水		水		金		月		木		
14日	木		木		土		火		金		
15日	金		金		日		水		土		
16日	土		土		月		木		日		
17日	日		日		火		金		月		
18日	月		月		水		土		火		
19日	火		火		木		日		水		
20日	水		水		金		月		木		
21日	木		木		土		火		金		
22日	金		金		日		水		土		
23日	土		土		月		木		日		
24日	日		日		火		金		月		
25日	月		月		水		土		火		
26日	火		火		木		日		水		
27日	水		水		金		月		木		
28日	木		木		土		火		金		
29日	金		金		日		水		土		
30日	土		土		月		木		日		
31日	日		日		火		金		月		
1日	月		月		水		土		火		
2日	火		火		木		日		水		
3日	水		水		金		月		木		
4日	木		木		土		火		金		
5日	金		金		日		水		土		
6日	土		土		月		木		日		
7日	日		日		火		金		月		
8日	月		月		水		土		火		
9日	火		火		木		日		水		
10日	水		水		金		月		木		
11日	木		木		土		火		金		
12日	金		金		日		水		土		
13日	土		土		月		木		日		
14日	日		日		火		金		月		
15日	月		月		水		土		火		
16日	火		火		木		日		水		
17日	水		水		金		月		木		
18日	木		木		土		火		金		
19日	金		金		日		水		土		
20日	土		土		月		木		日		
21日	日		日		火		金		月		
22日	月		月		水		土		火		
23日	火		火		木		日		水		
24日	水		水		金		月		木		
25日	木		木		土		火		金		
26日	金		金		日						

家庭・地域とともに育む 信頼される学校

令和4・5年度 道徳教育推進モデル校・朝霞市研究開発学校指定校
研修テーマ「多様な価値観にふれ、多面的・多角的に考える生徒の育成」～「考え、伝え合う」道徳授業の実践を通して～

学校経営方針

教育の根幹は相互における信頼関係の上に成り立つことと見え
・「生徒から信頼される教師の育成」
・「保護者から信頼される教育活動の実施」
・「地域から信頼される学校の創造」
を目指し、職員一丸となって取り組む。

本年度の重点

多様な価値観にふれ、多面的・多角的に考える生徒の育成への取組

広い視野を持ち、多面的・多角的に考える五中生



一人一人の生徒を全教職員で支援

学習面、生活面ともに、きめ細かく支援する

- ・チャレンジ学習で基礎的な学力定着（水曜日の放課後25分間）
- ・ステップアップ教室で自学自習をサポート（隔週土曜日、長期休業中 年間40回）
- ・生活ノート の取組
- ・家庭訪問・三者面談、教育相談の充実
- ・生徒指導委員会、教育相談部会の定例会議
- ・さわやか相談室の活動
（さわやか相談員、サポート相談員、スクールカウンセラー）



学校教育目標

進んで学習する生徒

人の気持ちちがわかる生徒

自ら体を鍛える生徒



健康な心身の育成

心身ともに健康で、健全な生活を送ろうとする態度を育てる

- ・体力向上への継続的・効果的な取組の推進
- ・性教育の推進
- ・朝の自主学習の取組

部活動の充実

生徒、教職員ともに努力し、充実を目指す

- ・生徒自身が目標を持って取り組む部活動の推進
- ・部活動における学年を超えた良好な人間関係づくり

あたたかい雰囲気づくりと地域・小学校との連携

家庭・地域・校区小学校との連携、交流の一層の推進を図る

- ・地域との交流推進（学校公開週間・ふれあい祭り・職場体験学習）
- ・体育祭、合唱コンクールなどの学校行事の地域への発信
- ・学校運営協議会の設置

あいさつがよくできる生徒の育成

明るいあいさつ、しっかりとした返事を生徒、教職員ともに心がける

- ・あいさつや声かけなど日常的な関わりによる生徒理解
- ・担任・副担任とともにある学級指導
- ・好ましい人間関係づくりを目指す取組

よくわかる授業と確かな学力の育成

基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得、課題を解決するための思考力、判断力、表現力の育成、主体的に学習に取り組む態度を養う「個別最適な学び」と「協同的な学び」の実現という視点を持って、生徒の愛着を踏まえつつ、指導方法を不断に見直す

- ・「考え、伝え合う」道徳授業の実践
- ・「個別最適な学び」と「協同的な学び」の実現
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
- ・ICT機器等を有効に活用した授業の工夫改善
- ・根拠強く、丁寧な指導、あきらめない指導の徹底
- ・広い視野を持ち、多面的・多角的に考える力の育成
- ・朝読書の実施

きれいな学校・安全な学校

きれいな学校、清掃の行き届いた学校を伝統として受け継ぐ安全な生活を送ろうとする態度を育てる

- ・校舎内外の清掃活動、美化活動の徹底
- ・施設設備の徹底した安全点検
- ・防災意識を高める安全教育の推進
- ・通学や行事、部活動時の自転車による交通事故防止の徹底

生徒会活動の充実

生徒の自主的、実践的な活動の充実を目指す

- ・生徒会活動や委員会活動の充実
- ・生徒が主体的に運営する生徒朝礼・学年朝礼
- ・自己決定力、集団決定力を育む学級活動の取組
- ・ポランティア活動など社会貢献できる生徒の育成